

8-4-2 生産性向上WG

1. WG 活動目的

建設事業全体の生産性向上を目指した DX 推進において国交省による BIM/CIM 原則適用に基づき i-Construction（建設生産性改革）を推進する。

特に、BIM/CIM を 3 次元情報連携におけるマネジメントツールとして、また、3D 設計に向けた活用など、これからの建設生産・管理システムの構築に向けて産学官一体となった取り組み検討を実施する。

- (1) BIM/CIM 活用に関する技術動向等の情報収集と共有
- (2) 3D 設計に向けた技術的課題の整理と検討
- (3) ICT および BIM/CIM 活用促進
- (4) 会員企業の技術者教育の促進

2. 主な活動の記録

BIM/CIM 活用促進に向けた各種委員会の活動等に参加し、それを通じ会員に情報共有を行った。また、BIM/CIM 原則適用後のフォローアップ調査の実施ととりまとめに続き、歩掛作成に向けて見積り作成のための調査等を国交省と調整しつつ行った。また、BIM/CIM 見積りの標準フォーマットを作成し本省の HP にアップした。さらに、ダム、河川、砂防等の新たな事業分野の委員の補強を行った。

- (1) 生産性向上 WG の開催
 - a) 令和 7 年度の実施体制、中期活動報告 (R6) 及び活動計画 (R7)、国交省 BIM/CIM 関連委員会と東京大学寄付講座等へ参加し、会員に活動状況等を情報共有した。
 - b) 令和 5 年度からの BIM/CIM 原則適用後の実態調査のフォローアップ。歩掛の「標準的な見積りフォーマット」を国交省 HP に公表した。
 - c) BIM/CIM 取扱要領 (案) の改訂に向けて会員企業への意見聴取と各関係団体との意見調整を行ない、取扱要領の見直し、公表に協力、支援した。
 - d) CAD 製図基準の問題点、課題の抽出と整理、改定 (案) に関して会員へ意見聴取を行い、改定

に協力した。

- e) 3D 設計については、国交省技術調査課と打ち合わせを行い、今後の建設コンサルタントの 3D 設計への取り組み方針、2D と 3D 設計図の連動の照査方法を検討し、BIM/CIM 推進会議の資料を作成し会議に提出した。発注図書を 3D 図面にするための基礎的な検討も行った。
- f) 各種委員会情報は DCB を活用し、適宜、情報共有を行っている。

(2) BIM/CIM 関連の対外活動への参加

- a) 令和 7 年度開催の BIM/CIM 推進委員会 2 回 (第 14 回 R7/6/17、第 15 回 R8/3/5) 及び幹事会 3 回 (第 1 回 R7/11/7、第 2 回 R7/11/22、第 3 回 R7/12/13) に参加するとともに、関連する PT へ委員派遣・検討支援を行った。

(3) i-Construction、ICT 導入推進に向けた活動

- a) ICT 導入協議会への参加 2 回 (第 21 回 R7/6/27、第 22 回 R8/2/25)。関連する基準類の改訂情報や ICT 施工の好事例を会員へ情報共有を行った。

- b) コンクリート生産性向上検討協議会への参加 (第 15 回 R8/2/25)。

- c) 建設施工における現場作業支援の DX に関する WG2 回 (第 11 回 R7/6/30、第 12 回 R8/2/18)

(4) 他団体等との関連技術情報の共有

- a) i-Construction システム学東大寄付講座
- b) 日本橋梁建設協会

鋼橋の上部工のデータ連携に関し、橋建協・建コン協およびソフト開発に関わる OCF の 3 者でデータ連携活用検討 WG を開催し、データ連携における課題抽出・対策の検討を行った。

3. 次年度の活動について

国土交通省が推進する BIM/CIM 活用と ICT 施工がさらに進展するよう、また、3D 設計の実現、3D 設計図が契約図書となるよう、その実現に向けて関係する委員会と協力して種々の検討を行い、生産性のさらなる向上を目指す。

(生産性向上WG WG 長 富田 邦裕)